アーツマネージャー育成講座＠ツムテンカク概要

資料３

20150623　佐藤千晴

**＜開催日時＞**

　2015年５月23日（土）

＜講座の内容＞

　デザイン＆アートイベント　ツムテンカク（大阪市芸術活動振興事業助成金　特別助成採択事業）を素材に、調査をしながら「調査・評価とは何か」を学ぶ。

　山下里加委員が助成金の審査基準を基本に調査票を作成、当日はレクチャーも担当した。

**＜講座の目的＞**

* 府・市主催事業や助成金採択事業の調査・評価の充実
* 大阪アーツカウンシルで活動するアーツマネージャーの発掘・養成

・現場の制作者に事業を企画・運営する新たな視点を養ってもらう

**＜参加者＞　11人**

**＜参加者の反応＞**

受講目的は「調査・評価に興味があった」が最も多く、次いで「大阪アーツカウンシルの企画に興味があった」「自分のプロジェクトの参考に」「アーツマネージャーの仕事に興味があった」。

感想は「このような評価を中心としたワークショップはアーツカウンシルがやるべき企画」「アーツカウンシルそのものや行政の見方にも興味があったので、なるほど、ど思う知識も得られた」「通年で連続開催を希望。また、ネットワーキングのために参加者同士の交流の場もあればいい」など。

＜今後の展開＞

* 大阪クラシック（９月）、おおさかカンヴァス（10月）、芸術文化魅力育成プロジェクト（10・11月）を素材に実施する計画
* 調査・評価を離れても「交流する」「語り合う」場をつくりたい